

特集: 中期経営計画2019 Q&A

安定した収益確保ができる会社を実現し、
持続的な成長と進化を遂げていくための基盤作りを行います。

1 Q
A

成長事業を育成するための具体的な取り組みについて教えてください。

OKIが強みを持つ技術や市場における成長領域に対して積極的な投資を行うほか、OKIグループの枠を超えた成長を図っていきます。例えば、OKIはこれまでも官公庁をはじめ、道路交通や旅客運輸、金融などの領域で公共性の高いお客様の業務効率化に特化した独自の技術やサービスを提供して、広く社会インフラを支えてきました。

現在、少子高齢化などにより社会構造が変化し、労働力不足やインフラの老朽化など新たな社会的課題が発生するなか、ICT・IoTの領域でその課題の解決への取り組みが期待されます。OKIはこうした課題解決を目指し、強みである特化した融合技術を一層活かしていくため、異業種アライアンスなどにも積極的に取り組んでいます。

2 Q
A

3年間で450億円の研究開発投資を計画していますが、注力する分野は何でしょうか。

2つの注力する研究開発テーマを設定し、取り組みを進めています。1つは保有技術をベースに光・音・画像などを活用することでセンシングの高度化を図り、より安全な社会を実現する「スマートセンシング」です。もう1つは、「人にやさしいメカトロ」で、メカトロ端末を人と社会の接点に位置づけ、人にやさしい最適なパーソナルサービスの提供を目指します。これらのテーマを中心に各業界で強みを持つ企業と共創しながら、オープンイノベーションを積極的に活用し、研究開発を進めています。

3 Q
A

人財マネジメントの具体的な取り組みについて教えてください。

国の重要政策とともに重要な経営テーマである働き方改革は、新たに特別プロジェクトチームを発足させ、働きがい・働きやすさと生産性向上を目指して全社横断で活動しています。同様に女性活躍推進についても、2016年4月に施行された女性活躍推進法に基づく行動計画にそって採用活動や人材の育成に取り組んでいます。2017年5月にはこれまでの取り組み状況が優良であるとして厚生労働大臣より「えるぼし」企業として認定されました。

また、人事評価制度については、従来の成果評価に加え、今年度から「OKIグループ行動指針」に基づいた行動評価を実施し、社員が目標実現のためにより迅速に行動し、変革に挑戦できる環境作りを行っています。